

## 【アセスメントシート1】

対象者氏名: \_\_\_\_\_ ケアマネジャー 事業所: \_\_\_\_\_ 氏名: \_\_\_\_\_

訪問日: \_\_\_\_\_ セラピスト 事業所: \_\_\_\_\_ 氏名: \_\_\_\_\_

## 【目標】

	自己評価 /10
--	-------------

## 【活動と参加の履歴と希望】 ◎:優先度1 ○:優先度2 △:優先度3 ×:禁忌or望ましくない

内容	優先度	内容	優先度

## 【ICFに基づく分析】

	心身機能と構造	活動と参加	環境因子	個人因子
障害要因				
強み				
リスク管理				
方針				

## 【その他コメント】

--

【アセスメントシート2】

対象者氏名: \_\_\_\_\_

ケアマネジャー 事業所: \_\_\_\_\_ 氏名: \_\_\_\_\_

セラピスト 事業所: \_\_\_\_\_ 氏名: \_\_\_\_\_

【自宅環境】

自宅見取図	
評価	

【周辺環境】 自宅周辺や外出先等、本人の行動範囲に係わる環境の概略図

環境概略図	
評価	

【自立支援に必要と考えられる取り組み】

本人や家族の取り組み	利用可能な地域資源
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
課題解決に向けた手段	
<input type="checkbox"/> ヒビツモ教室	<input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>
上記判断の根拠	

【アセスメントシート1】

対象者氏名: Aさん ケアマネジャー 事業所: B 氏名: C

訪問日: ○年○月○日 セラピスト 事業所: D 氏名: E

【目標】

1回/週、喫茶店まで歩いて通うことを再開できる。	自己評価 <b>0/10</b>
--------------------------	---------------------

【活動と参加の履歴と希望】

内容	優先度	内容	優先度
農機具の修理		<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;">                     「これまでの生活」の聴き取りから、活動と参加の履歴を引き出す。現在までやったことがないが、興味がある活動も聴取。ポイントとなりそうなADIやIADIも記入しておく。                 </div>	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;">                     ◎=優先度1番 ○=優先度2番 △=優先度3番 ×=専門的に禁忌にあたる本人や家族が望んでいない                 </div>
畑仕事(家庭菜園)	△		
旅行			
入浴	○		
喫茶店通い	◎		
ドライブ	×		

【ICFに基づく分析】

	心身機能と構造	活動と参加	環境因子	個人因子
阻害要因	腰部脊柱管狭、腰背部痛の訴え、歩行耐久性が低い。股・膝関節軽度屈曲での歩行。⇒過剰な運動となり、転倒リスクも高い。	閉じこもりがちな生活により、下肢筋力の低下が進んでいる。歩行補助具の導入に抵抗感を覚えている。	喫茶店まで約450mの距離があり、途中休憩できるベンチ等がない。	「弱みを見せたくない」との本人の思いが強く、歩行器の導入にも否定的。
強み	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;">不要な部分は無理に埋めずに開けておく。</div>	最近まで通っていた場があるので、人とのつながりがまだ絶たれていない。	喫茶店のマスターや常連は、来店再開を強く望んでいる。妻や長女も協力的、孫の応援も本人の意欲となる。	真面目な性格なので、きっかけさえつかめば運動や外出の継続は可能と思われる。
リスク管理	不適切な姿勢での歩行や、我流の筋トレを継続することで、腰背部痛を悪化させる可能性がある。	歩行補助具を使用せずに、無理に長距離を歩くことで、腰部への負担を増大させる可能性がある。		
方針	腰部からのストレッチにより脊柱のS字カーブを取り戻す。大腿四頭筋、大殿筋、ハムストリングス、下腿三頭筋、腸腰筋の筋トレ。	散歩を習慣化し、歩行耐久性を底上げする。⇒まずは往復50m程度から実施。歩行器のデモを実施。	道中の休憩場所について検討。喫茶店のマスターや友人に依頼し、動画にて、来店再開を呼びかける。	歩行器使用での外出により高い活動性を保っている事例の紹介。

【その他コメント】

○自宅前の道が狭いため、車種によっては自宅前まで入っていく時に注意が必要

【ICFに基づく分析】に分類できない事項や、書ききれない場合はここに記載

【アセスメントシート2】

対象者氏名:  Aさん

ケアマネジャー 事業所:  B  氏名:  C

セラピスト 事業所:  D  氏名:  E

【自宅環境】

自宅見取図	<div style="border: 2px solid red; border-radius: 20px; padding: 20px; color: red;">                     必要がない場合は、無理に記入しなくてもよい                 </div>
評価	

【周辺環境】 自宅周辺や外出先等、本人の行動範囲に係わる環境の概略図

環境概略図	
評価	<p style="border: 1px solid red; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block; color: red;">リスクアセスメントに加えて、解決策も提案</p>
	<p>自宅から喫茶店までの距離は約450m。途中に座れるようなベンチ等はない。                  南北に走る道は交通量が多く、横断歩道もないので注意が必要。                  喫茶店前の道は緩やかな勾配があるが、歩行器での通行の障害になるほどきつい勾配ではない。                  アスファルトのちょっとした段差が随所にあり、以前の転倒もその段差に躓いている。                  ⇒車輪径が大きめの歩行器を導入し、途中での休憩用にも活用してもらう。</p>

【自立支援に必要と考えられる取り組み】

本人や家族の取り組み	利用可能な地域資源
<input checked="" type="checkbox"/> 往復50m程度の散歩から開始 <input checked="" type="checkbox"/> 散歩開始に向けての声掛けと、初期の付き添い <input type="checkbox"/> <span style="border: 1px solid red; border-radius: 10px; padding: 2px;">日々の取り組みの提案(具体的に)</span> (妻・長女)	<input checked="" type="checkbox"/> 喫茶店 <input checked="" type="checkbox"/> 喫茶店のマスターや常連の友人 <input type="checkbox"/> <span style="border: 1px solid red; border-radius: 10px; padding: 2px;">物的資源のみならず、人的資源も記入</span>
課題解決に向けた手段	
<input checked="" type="checkbox"/> ヒビツモ教室 <span style="border: 1px solid red; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block; color: red;">「ヒビツモ」適応の可否を主に判断</span>	<input type="checkbox"/> その他
上記判断の根拠	
<span style="border: 1px solid red; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; color: red;">「ヒビツモ」不適応の場合に詳しく記入</span>	